

きこりん だより

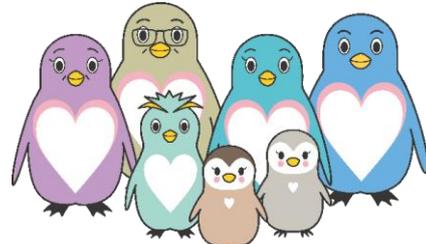
令和4年
10月5日
No.69

10月と11月は「^{さとおや}里親月間」です

都内に**約4000人**。親の病気や離婚、虐待などさまざまな理由により親元で暮らすことのできない子どもの数です。そのような子どもを自らの家庭に迎え入れ、家庭的な環境で育てるのが「里親」です。

ひとくちに「里親」と言っても、子どもを迎え入れる形はさまざまです。例えば、一定期間自分の家庭で養育する「養育里親」という形、養子縁組によって子どもと法的な親子関係を結ぶことを前提として養育する「養子縁組里親」、またお正月休みや長期休み、週末などに数日～1週間程度子どもを家に迎える「季節・週末里親」などいくつかの形があり選ぶことができます。

里親制度は、「健やかな育ちの場を必要とする子どものための制度」です。里親さんの家庭で安心して育てている子どもたちがいます。新しい家族のひとつの形と言えるでしょう。



東京都里親制度普及啓発キャラクター
「さとペン・ファミリー」

*ペンギンは子煩悩な動物で、オスとメス、群れで協力してヒナを守り子育てをすることからキャラクターとなっています。

東京消防庁から「感謝状」が贈呈されました



9月9日（救急の日）に、東京消防庁救急部長より子ども家庭支援センターに感謝状が贈呈されました。これは「多年にわたり救急行政に深い関心と理解を示し、その推進に積極的に協力し、救急業務の充実発展に寄与した」ことに対して送られたものです。

奥多摩消防署・茂木署長（右）と大串センター長
子ども家庭支援センターにて

＊ おしらせ ＊

令和4年10月21日(金)

第3回ファミサポ・病後児研修

「絵本っておもしろい！」



～子どもと一緒に絵本を楽しもう～

10:00～11:30 きこりんにて

申し込み締め切り 10月18日(火)

絵本専門士の方をお招きし、絵本の紹介や読み聞かせの効用などのお話を伺います。実際に読み聞かせもあります。どなたでも。

令和5年1月16日(月)

第4回ファミサポ・病後児研修

「子どもの応急対応」



～こんなときはどうする～医師編

13:30～15:00 保健福祉センター

子どもの病気やケガをした際、どのように対処するかなど、奥多摩病院の先生からお話を伺います。子育て中の方、子育てに関わっている方にお勧めです。

詳細は、子ども家庭支援センター・きこりん(0428-85-2611)までお問い合わせください。



子どもの応急対応「こんなときはどうする？」が開催されました！

今年も奥多摩消防署のご協力をいただき開催しました。ファミサポ・病後児会員さんや民生児童委員さん、シルバー見守り員さん、学童指導員さんなど、日頃より子ども達に関わるみなさんが参加。はじめに救急係長の齋藤和範さんの講義を受けたのち、人形を使って各自が実践しました。心肺蘇生やAEDを行う際の注意点など確認しつつ、みなさん熱心に受講されていました。

ユーモアも交えた講義



救急隊員さんの実演



救急車内の見学と説明



真剣に体験中です



発行：子ども家庭支援センター・きこりん

奥多摩町小丹波 108 番地

TEL：0428-85-2611

相談専用：0428-85-1788

相談専用メールアドレス kikorin@town.okutama.tokyo.jp

